

# 「劇団たちばな座」盛岡公演 劇団「Zの風」奥州公演

海沿いの介護施設、認知症の女が、そこで出会った男と懐かしい昔話を始めます。

女はかつて東京の劇団の女優でした。

それが自慢でした。そして歌自慢でもありました。

しかし、女は深い孤独を抱えており、男も又、深い悩みの中におりました。

やがて、夕陽の中で、別れの時が近づきます。

ウミネコが啼き、潮騒の聞こえる丘の上。

おかしくも切ないまでのお話です——。

## ◆上田次郎（劇団たちばな座）

作品 テレビドラマ「あの街で」 ラジオ「彼岸雪」  
俳優座「江戸の極楽とんぼ」 劇団Zの風「千三の墓」など



高橋 瑛子

瑛子語り草子の会代表。劇団芸術劇場（東京）入団。初舞台1958年、菊池寛「相似」を俳優座劇場で。他にゴリキー「どん底」。チェーホフ「かもめ」。モリエール「町人貴族」。エウリピデス原作「トロイヤの女」。'98「瑛子語り草子の会」旗揚げ、創作劇「ねとり」上演。奥州市に転居後、「長英の母・美也の夢」20ステージ公演。奥州市民劇、演出、出演。朗読「てのひらの会」主宰。



渡部 明

劇団「Zの風」代表。劇団芸術劇場（東京）入団。初舞台1960年ゴリキー「検察官」を、俳優座劇場で。他にゴリキー「どん底」。チェーホフ「かもめ」。モリエール「町人貴族」を全国公演1200ステージ。奥州市に転居後、劇団「Zの風」旗揚げ。戦後70年に上田次郎「千三の墓」上演。奥州市民劇「ひびけ木貝（ほらがい）よ！」「大地の侍」「新平さんの大風呂敷」他多数の市民劇の脚本、演出、出演。



作／上田次郎 演出／菅原るみ子

音響／鈴木雅也  
照明／佐藤勝己  
宣伝美術／柴田外男  
演出助手／菅原ひろ子



菅原 るみ子

「黒猫舎」代表。高校時代の芸術鑑賞で「町人貴族」に感動、演劇を始める。劇団「赤い風」に所属。2009年「黒猫舎」旗揚げ。宮沢賢治の童話を企画、構成、演出、出演。奥州市民劇「木漏れ日のように」「陽だまりのなかの春子さん」「大地の侍」「新平さんの大風呂敷」。瑛子語り草子の会「薬屋」「女優宣伝業」出演。他に前沢劇場の町民劇を多数演出。

## 劇団たちばな座

劇作家上田次郎氏の脚本を上演する劇団です。上田氏に未発表の脚本が5本あります。笑わせて、しみりさせて、人間とは何かを考えさせてくれます。どの脚本も面白いです。今後、日本の演劇界に新しい分野を切り拓く作品だと確信しております。見渡せば演劇界はシニア劇団が花盛りです。全国で100を超えるシニア劇団が活動。目的に生きがいと健康増進を掲げています。演劇の新時代を予感。

## 劇団「Zの風」

「Z」は水沢緯度観測所の初代所長、木村榮博士が1901年に天体観測史上画期的な「Z項」を発見したことに因んでいます。「Z」の文字は未知のロマンと究極の理想を意味します。劇団「Zの風」は奥州市を拠点にロマンと理想を求め演劇界に新しい風を吹き込み続けたいという思いから命名、2013年に「象の死」で旗揚げしました。

- 後援(予定)【盛岡】IBC岩手放送、岩手県芸術文化協会、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、盛岡市社会福祉協議会、岩手日報社、盛岡タイムス、河北新報、朝日新聞盛岡総局、読売新聞東京本社盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、岩手県民謡協会
- 【奥州】奥州市教育委員会、奥州市芸術文化協会、岩手日日新聞社水沢支社、胆江日日新聞社、奥州エフエム放送、水沢テレビ